

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おーじやん緑が丘			
○保護者評価実施期間	2025 年 12 月 1 日 ～ 2025 年 12 月 20 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	30名
○従業者評価実施期間	2025 年 12 月 1 日 ～ 2025 年 12 月 20 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 29 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の置かれている環境や特性に対する理解の深さ	毎週のミーティングを通して支援内容や方向性について協議している。児童を取り巻く環境や特性についてなど様々な角度から考え児童に対する理解を深めています。簡易検査を用いての発達などの段階を見極められるよう努めています。	社内、社外を含めた研修に参加することで支援員の技術の向上を目指します。ケースワークなども取り入れたり様々な視点から児童の理解を深めていけるようなミーティングを実施する。
2	本人中心支援の徹底	様々な活動の際、選択の機会を設け児童の意思を尊重しています。児童自身がやりたいことを実現していくための取り組みを実施しています。	引き続き児童の選択を尊重し自己実現していけるよう支援していきます。
3	事業所全体での統一した支援への取り組み	報連相を徹底し様々なツールを利用し支援員が統一した支援ができる環境を設定しています。担任制を用いながら支援の方向性にズレが起きないように取りまとめています。	今後も支援の統一の重要性を理解し支援員内で方向性のズレが起きないように取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流やイベントの実施	イベントの企画や安全面での体制が不足している。	保護者の参加しやすい内容のイベントや家族支援の専門性を高める取り組みが必要である。
2	ホームページやSNSや通信での発信の実施	事業所での活動などをSNSや通信などで発信できる体制が不足している。	通信などを保護者に配布しおーじやんでの活動を発信していけるよう取り組む必要がある。
3	ペアレントトレーニングの実施	家族支援の一環としてのペアレントトレーニングの実施ができる体制が取れていない。	ペアレントトレーニングの研修や実際にコーチングしてもらい実施ができるよう体制を取っていく。